



下野の國押切村森田半之丞
の家へ去る九八日の夜入る盗賊

白刃をさかして押入りが
半之丞も養子も眼を覺

強氣の親子が力をつくせど
賊の及みの所持し思てきき事
の
手鎗を持て走り出さく盗賊
小立むい親夫あやまきを助けて
をんなく賊をいけりて早速廳へ送り
し官其功を賞さるる褒美をよま
りし

箭木主人筆

新聞圖會

第廿四号



八尾金板